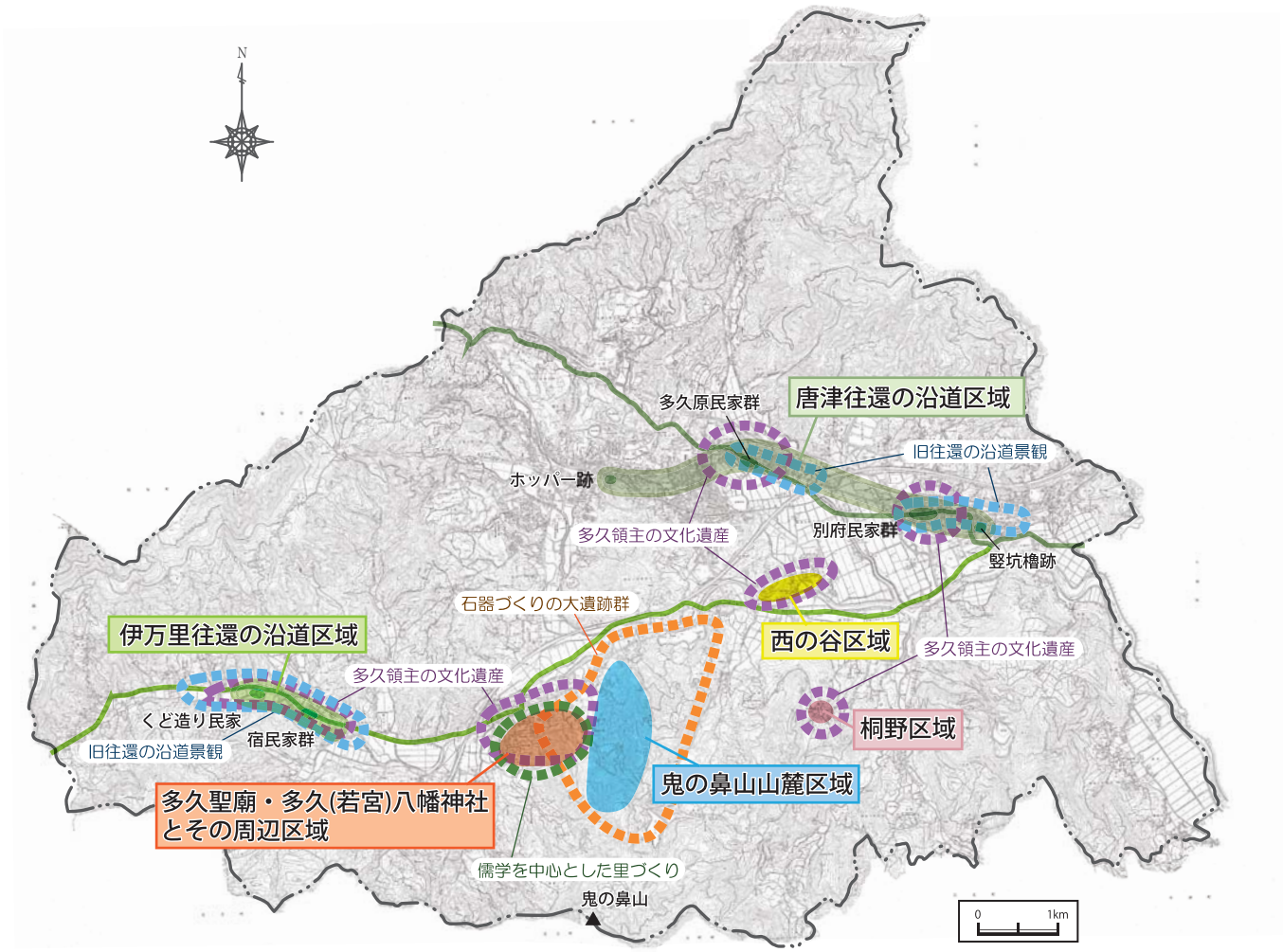
歴史文化保存活用区域のゾーニング

関連文化財群の主要な構成要素の所在地をもとに、文化財が集積した地区や、関連する文化財をつなぐ範囲など、テーマを語るうえで核となる地域を設定します。本構想では、以下の６区域を選びだし、これらの区域を中心に、未指定文化財をふくむ歴史文化を活かしたまちづくりなどの環境整備を検討していきます。



テーマ / 区域	石器づくりの大遺跡落群	多久領主の文化遺産	儒学を中心とした里づくり	旧往還の沿道景観	炭都・多久
鬼の鼻山山麓区域	茶園原遺跡 多久石器原産地遺跡群				
桐野区域		妙覚寺			
西ノ谷区域		前多久氏館跡 高野神社　延寿寺			
唐津往還の沿道区域		唐津往還とその宿・駅		商家（木下家住宅・別府民家群） 商家（多久原民家群）	竪坑櫓跡 ホッパー跡 坑口跡
伊万里往還の沿道区域		伊万里往還		くど造り民家（川打家・森家、他） 幡船の里	
多久聖廟・多久(若宮)八幡神社とその周辺区域	三年山遺跡	梶峰城跡　御屋形跡 多久八幡神社 武家屋敷　多久神社 等覚寺　専称寺 西の原大明神 肥前陶器窯跡（唐人古場窯跡） 多久市郷土資料館（立葵蒔絵螺鈿箏・多久家資料及び後藤家文書）	多久聖廟及び関係文化財 聖廟周辺　西渓公園 東原庠舎（宿泊研修施設） 多久市立東原庠舎西渓校 多久市郷土資料館（石製先家君自安先生墓誌）		